

9/16 「支えあう 住みよい社会 地域から」 新たな民生委員・児童委員が決まる



民生委員・児童委員として、鈴木志保氏(写真中央)が、9月1日付で厚生労働大臣の委嘱を受けました。民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手であり、相談内容に応じて各機関と連携し、様々な支援サービスへの橋渡し役として活動しています。

9/16 躍動するダンスで全国へ！ ダンスコンクール九州大会 金賞受賞報告



8月16日に福岡市で開催された、「第10回全日本小学生ダンスコンクール九州大会」中学生部門オープン参加の部において、大湾裕斗さん(具志川中2年:中央)が所属するチーム「flowfam okinawa」がみごと金賞を受賞し、全国大会出場を決めたとして中村市長に喜びの報告を行いました。

9/22 「自転車も ルールを守る ドライバー」 秋の全国交通安全運動うるま地区出発式



『令和4年秋の全国交通安全運動うるま地区出発式』が市民芸術劇場で行われ、式典では長年にわたり地域の交通安全に顕著な功労のあった個人や団体へ、交通安全功労者および優良自動車運転者表彰が行われました。中村市長は、「運転手・歩行者の双方に安全確認の徹底を求め、安心安全なうるま市を目指しましょう。」と挨拶しました。

9/16 若年層の資格取得をサポート 青年開発隊での資格取得と卒隊を報告



資格取得を支援する若者就業支援プログラム事業により、沖縄産業青年協会(青年開発隊)で半年間の技能訓練を行った訓練生が、中村市長へ卒隊の報告を行いました。この事業は失業率の改善や所得の向上を図ることを目的に、就職に有利な建築関連の資格取得のできる青年開発隊への入隊金等の助成を行っております。

9/20 演奏と演技に思いを乗せて マーチングフェスティバル 金賞受賞報告



9月10日に開催された、「第41回沖縄県マーチングフェスティバル」において、金賞を受賞したとして与勝中学校吹奏楽部3年、前上門咲部長(前列左)と小島奈々副部長(前列右)が市役所を訪れ、中村市長に喜びの報告を行いました。この成績により、10月に鹿児島県で開催される九州マーチングコンテストへの派遣が決まっています。

9/29 持続可能な部活動を目指して 部活動の地域移行に係る連携協定締結式



市は、スポーツデータバンク株式会社、三井住友海上火災保険株式会社の三者で、部活動の地域移行を見据え、質の高い指導者の育成・確保、保険の充実など円滑な移行を目的に連携協定を締結しました。この締結により、持続可能な地域部活動の環境整備を目指します。

市では、令和4年9月1日時点で63名(男性9名、女性54名)の方が新百歳を迎えられました。多年に渡り社会に貢献してきた方の長寿を祝うため、9月17日に中村市長が慶祝訪問を行いました。



戦後、本土から沖縄に戻り、昼は養豚と農業、夜は基地内でコックとして懸命に働いてきた宗太郎さん。元コック長の腕前を生かし孫たちにご馳走をふるまう事もあった。今も特注の一輪車を押して元気に畑へ通っている。



働き者の夫と豆腐屋を営みながら、子育てを頑張ってきたシズさん。話し上手でデイサービスではマイクを持って司会を担当するなど一番の人気者。家では挿木で花を増やし、大好きな花に囲まれて楽しく暮らしている。



前原高校・与勝高校で用務員として勤めていたハルさん。家庭科教諭からの勧めで、定年後パッチワークを始め、今でも器用にハンドメイドのバックを作っている。デイサービスでは平安座の旧友に会えることが楽しみ。



戦後、南洋諸島から沖縄に戻り、トラック運転手などを経て、ゴミ収集の事業を立ち上げた康一さん。孫娘さんのTwitterにアップされる面白写真は孫たちに好評で、カメラを向けると快くピースサインに応じてくれる。



戦前パラオへ移住し、そこで夫と出会い結婚した政子さん。終戦を機に沖縄へ戻り、刺身屋を経て「山城ストア」を90歳近くまで営んできた。娘さんお手製の添加物を使わない健康的な食事が長寿の秘訣になっている。

ちなみに... うるま市 百歳以上 長寿者年齢 ベスト10

R4.9.15現在

順位	行政区	年齢	性別
1	上原	107	女
2	屋慶名	107	女
3	赤野	106	女
4	南風原	106	女
5	伊計	105	女
6	栄野比	105	女
7	中央	105	女
8	平安名	104	女
9	昆布	104	女
10	赤道	104	女

新百歳の長寿を祝う